

# A.L.L. 通言

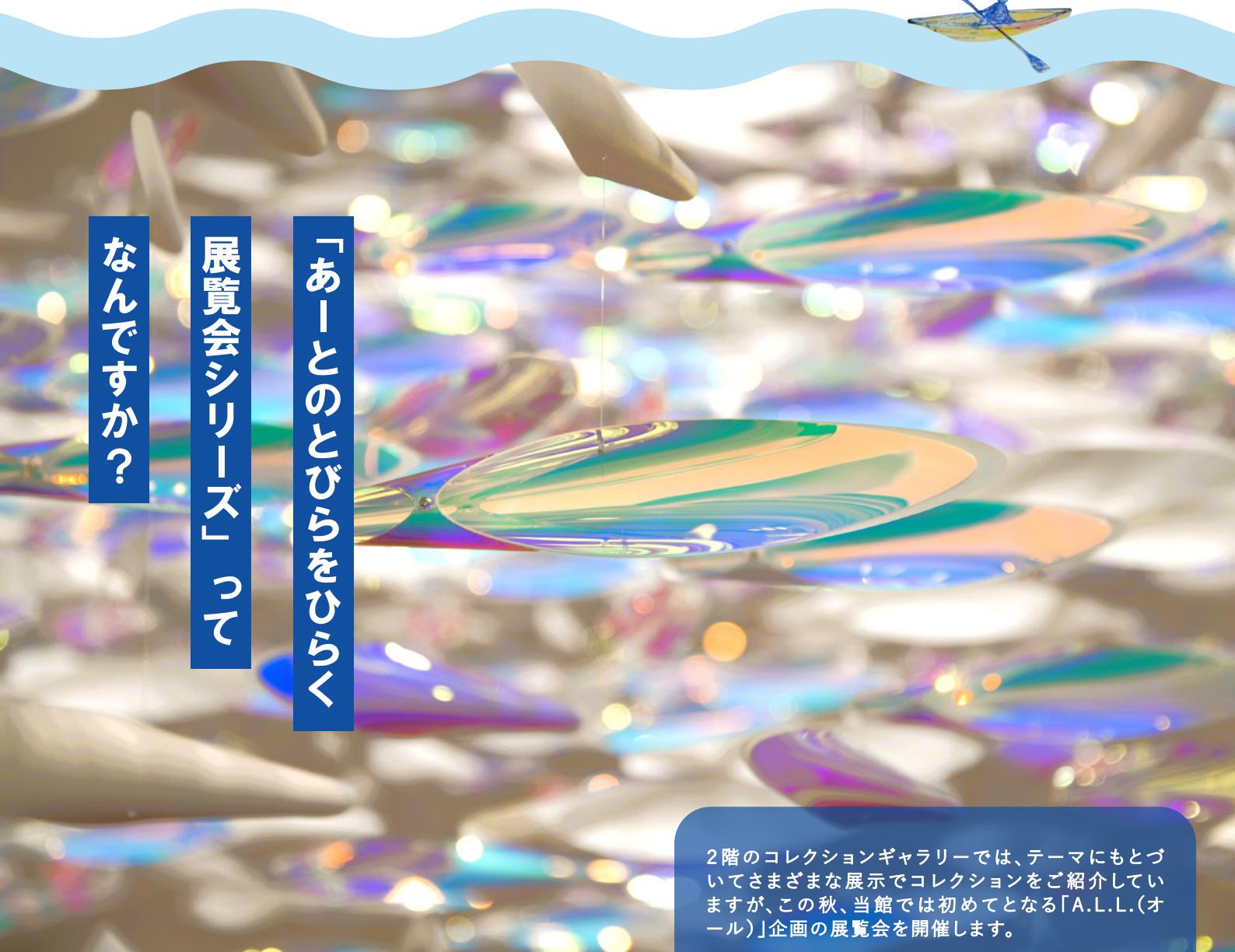
アート・ラーニング・ラボ

つうしん

なんですか？

展覧会シリーズ「って

「あーとのとびらをひらく



「小松宏誠展 光と影のモビール けしきと歌」会場内の様子

2階のコレクションギャラリーでは、テーマにもとづいてさまざまな展示でコレクションをご紹介していますが、この秋、当館では初めてとなる「A.L.L.(オール)」企画の展覧会を開催します。

本展は、「あーとのとびらをひらく展覧会シリーズ」と冠し、年1回のペースで計画していきます。通常のコレクション展とは異なり、一体どのような展示が繰り広げられるのか。展覧会の発案の経緯やコンセプトなどをご紹介します。

多様なアートとの出会いの場をつくる  
子どもたちをはじめとするすべての方々に向けて

A.L.L. presents

## 「あーとのとびらをひらく展覧会シリーズ」 って何ですか。



A.L.L. presents あーとのとびらをひらく展覧会シリーズ 01  
小松宏誠展 光と影のモビール けしきと歌

今回は  
こちら



ファシリテーターと一緒に作品鑑賞する「MUSEUM START BUS」(=A.L.L.通信No.3にて詳しく掲載)の様子  
(9月撮影、鳥取市立鹿野学園)

展示室を巡る方々のつぶやきです。シリーズ1回目となる「小松宏誠（こまつ・こうせい）展」では、コレクションギャラリー1、2を会場としてインスタレーションを開催しています。会場に設置されたモビールの光と影が、流れる音とともに鑑賞者を非日常の世界へと誘います。と同時に、波の音や雨音に懐かしい気持ちが呼び起こされることもあるようです。床に座ったり、寝転がったり、みなさん思い思いに鑑賞を楽しんでいます。この会場では、子どもも大人も目をキラキラさせて、心をゆったりと開放しているように思えるのです。

「あーとのとびらをひらく展覧会シリーズ」とは、子どもも大人も楽しめるなどをコンセプトに、アート・ラーニング・ラボが企画する展覧会のシリーズ名です。当館の前身となる鳥取県立博物館の美術部門では、「美術をめぐる場をつくる」というシリーズ名で約10年間、様々なアートと出合う機会をつくってきました。美術館の開館を迎えた今、シリーズ名を一新し、これまでの取り組みを継承しながら、空間全体が作品となるインスタレーションや鑑賞者が展示に参画できるインタラクティブな展示など、さらに楽しく、アートに親しみを持っていただける展覧会を開催していきます。

「わあ、キレイ！」

「すごいなあ！」

「なんか心がスゥーッとする」



で作品をスケッチする様子  
(9月撮影、鳥取市立美保南小学校教室)

本展では、小松さんの作品とコラボレーションするかたちで、小松さんがセレクトした鳥取県が所蔵する作品が展示されています。例えば、《雨のうた》の横には、瀬戸浩《雲のシリーズ》や橋本興家《雨》が展示され、《海のモビール》の近くには前田寛治の《浮かぶ島》がある、といったように。今だけ、鳥取県立美術館だけの展示です。けれど作品をコラボさせるだけでは、まだ、「けしき」にはならないと小松さんは話します。作品を鑑賞する方々の姿があつて初めて「けしき」が完成し、そこでそれぞれの心の中に生まれる思い

が「歌」なのだと。あなたの心の中にはどんな「歌」が生まれるでしょうか。今だけ、ここだけの空間をぜひお楽しみください！



展覧会の詳細はこちら→

### レポート！

約400点のかわいい“らくがき”が  
ひろまを埋め尽くしました！



9月20～23日にワークショップ「らくがきばんざい！」を開催。円形に切り抜いた大小さまざまな紙に、来場者が思い思いにお絵描きをお楽しみました。来年も、この時期に開催しようかな…と、考えています。



### このいちまい

あなたの好きな「海のけしき」をご紹介ください！

「小松宏誠展 光と影のモビール けしきと歌」の関連企画として、あなたが撮影した「海のけしき」を、2Fギャラリースペースに展示しています。当館WEBサイトの当該ページをご確認のうえ、画像をお送りください。引き続き、みなさまからの投稿をお待ちしております。

展示期間:2025年11月9日まで

詳細は  
こちら→



画像投稿  
受付中！



### 「MUSEUM START BUS」実施校のアンケートより（令和7年度4～7月分）

7月上旬までに51校児童数約2500人が来館した学校の先生方のアンケート結果をご報告します。

#### ①100分間のプログラムについて

ちょうどよかったです……77.2%  
短かった……14%  
長い・やや長い……8.8%

#### ②活動内容について

満足……86%  
やや満足……14%

#### ③子どもたちの反応について

とても良かった……89.5%  
良かった……10.5%

※その他、自由記述による回答もたくさんいただいております！ご協力、ありがとうございました。

